

**奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票**

調査日	2018 年	8 月	19 日	記入者	小倉つき子
調査者名	小倉	久門	鈴木	仲谷	水間

調査対象先	旧鹿沼家住宅＝旧所在：大和高田市永和町				
所在地	大和郡山市矢田町545、県立民俗博物館・大和民俗公園	電話番号	0743-53-3171		
代表者 調査対応者	県立民俗博物館総務課の森川龍太郎係長				
対象文化財	彫刻	県指定：	件	国宝：	件
	建造物	県指定：	1 件 1 棟	国宝：	件 棟

**地震対策**

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	特にない。 <small>その他(大和民俗公園の古民家は文化的・建築的価値伝承のため移築復原したもので、形状を変える耐震補強はあえて行っていない。)</small>	
	要望	特にない。	

**防火対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定は主屋。屋根は棧瓦葺き、外部は白漆喰の塗り込めとなっている。要所に火災感知器、消火器を配置。屋外に火災報知機、放水銃も設置。隣の旧臼井家(重要文化財)に避雷針がある。	
	今後の予定	県立民俗博物館・大和民俗公園として大和郡山市消防と2年ごとに総合防火訓練を実施しており、今後も継続していく。	
	要望	文化9年(1812)の「請取普請状」が現存する貴重な町屋で、米屋を営んでいたと伝えられる。二階に出格子を有する主屋としては、県内では最も古い。今後も貴重な町屋を守るための防火対策を。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他( )	
	要望		


奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	旧鹿沼家住宅＝旧所在：大和高田市永和町
-------	---------------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	公園エリアにアライグマが出没しており、旧鹿沼家では、中にまで入って来ている様子。障子の随所々にひっかかれたあとがある。
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマの駆除では大和郡山市とも連携して進めていく。

県指定の文化9年(1812)建築の旧鹿沼家住宅	隣の旧臼井家(重文)の避雷針が、鹿沼家の避雷に
	

要所に火災感知器を取り付け、消火器を設置	屋外の防火水槽と放水銃
 	 

アライグマによる障子の引っ掻き傷が随所に	【調査票記入者(小倉つき子)の感想】
	防火対策は充実しているが、「大和民俗公園の古民家は文化的・建築的価値伝承のため移築復原。形状を変える耐震補強はあえて行っていない」という。そのまま大切に、の意識も大切かもしれない。